

2021年9月9日

シンジケーション方式トランジション・ローンへの参加について

当行は、株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」）および三井住友信託銀行株式会社（以下「三井住友信託銀行」）組成による株式会社商船三井（本社：東京都港区、代表取締役社長：橋本剛、以下「当社」）向けのシンジケーション方式トランジション・ローン（※1、以下「本ローン」）に参加しましたので、お知らせいたします。

地球規模での様々な環境問題、社会問題に直面し、SDGs/ESGの重要性が高まるなか、引き続き当行は、地域金融機関としての社会的責任を果たし、持続可能な地域社会の発展に努めてまいります。

記

<シンジケーション方式トランジション・ローンの概要>

借入人	株式会社商船三井
アレンジャー	DBJおよび三井住友信託銀行
コ・アレンジャー	三井住友銀行
トランジション・ストラクチャリング・エージェント	DBJ、三井住友信託銀行および三井住友銀行
エージェント	三井住友信託銀行
貸付人	当行ほか12行
資金用途	LNG燃料フェリー2隻（本船）
トランジション認証にかかる第三者評価機関	株式会社日本格付研究所（以下「日本格付研究所」）

本ローンは、本邦で初めてトランジション・ローンとして、経済産業省のクライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業に採択されました（※2）。また、本ローンの適格性については、国際資本市場協会（ICMA）「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」およびLMAなどが策定する「グリーンローン原則」等に準拠する旨、日本格付研究所による第三者評価を取得しました（※3）。

※1 パリ協定が目指す脱炭素社会の実現に向け、長期的な移行（トランジション）戦略に則った温室効果ガス削減に取り組んでいる企業を支援することを目的とした融資の枠組みです。

※2 経済産業省のウェブサイトをご参照ください。

[【https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/climate_transition/002.html】](https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/climate_transition/002.html)

※3 日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。



[【https://www.jcr.co.jp/greenfinance/】](https://www.jcr.co.jp/greenfinance/)

<本船概要>

船名・竣工予定日	「さんふらわあくれない」：2022年12月 「さんふらわあむらさき」：2023年 3月
造船会社	三菱造船 下関造船所
乗客数	714名
トラック積載可能数	136台（13m換算）
航行速度	22.5ノット
全長	199.9m
総トン数	約17,300トン

本船は、国土交通省「内航船省エネルギー格付制度」により最高評価5つ星の認証を受けており、本船導入により、硫黄酸化物排出量のほぼゼロへの低減や重油専焼比20%以上のCO2削減効果が見込まれます。また本船は、西日本地域の人・モノの輸送を支える重要な海上インフラとしての役割に加え、国内のモーダルシフトを推進する効果も期待されています。

【対応するSDGs】

	3.9	2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質および土壌の汚染による死亡および疾病の件数を大幅に減少させる。
	11.6	2030年までに、大気の水質および一般ならびにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。